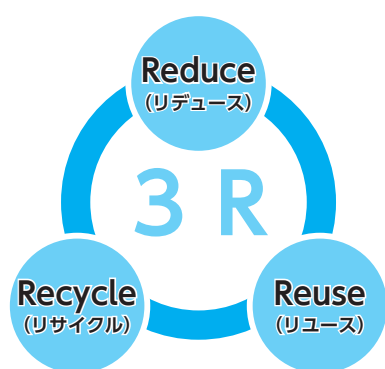
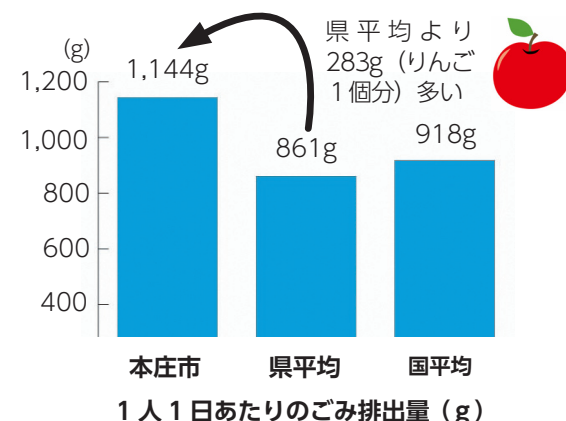


10月は3R推進月間です

令和元年度に市から排出された1人1日当たりのごみの量は1,144g。県平均、国平均を大幅に超えています。

市の豊かな自然や美しい街並みを守るため、身近なところから3Rに取り組み、ごみを減らしましょう。



3Rとは

3Rとは、排出するごみを減らす Reduce (リデュース)、使えるものはごみにせず繰り返し使う Reuse (リユース)、ごみを資源として再利用する Recycle (リサイクル) の頭文字を取った、ごみを減らすための取り組みです。

身近な3R～Reduce～

Reduce (リデュース) に取り組もう

3Rは身近なところから工夫ひとつ、意識ひとつで始めることができます。ふだんの生活から3Rに取り組んでみませんか。今月は身近な3Rとして、Reduce (リデュース) を紹介します。

●マイ〇〇を持ち歩こう

包装やレジ袋、ペットボトルなどのごみはマイバッグやマイボトルなどを持ち歩くことで削減できます。これらのプラスチックごみ削減は、環境保全にもつながります。

●「もったいない」で食品ロス対策

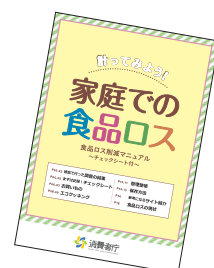
10月は3R月間に加えて、食品ロス削減月間です。食品ロスとはまだ食べられるのに廃棄されてしまう食品で、ごみ排出量増加の要因です。「もったいない」を意識すると家庭から出る食品ロスを減らせます。

一食品ロス対策をしてみましょう

- ☐ 食材は必要な分だけ買う
 - ☐ 食材を余すことなく使う
 - ☐ 調理は食べきれ分だけを作り、作りすぎない
 - ☐ 正しい保存方法で食材を長持ちさせる
 - ☐ 食べない食品をフードバンクへ寄附する
- 食品ロスを減らすための食材リストの作り方や、食べ残しの調理テクニックなどを市HPで紹介しています。



市HP



生ごみの減量にチャレンジ

市の可燃ごみのうち約40%が生ごみです。生ごみを減らすことが、ごみ減量の大きな鍵となります。

●生ごみの水切りで減量

生ごみの重量の約80%が水分です。ごみを出す前に水切りをすると重量を約10%減らすことができます。市では、家庭から出た生ごみをひとしぼりする「生ごみ水切り運動」を推進しています。

生ごみに触れずに水切りができるグッズも販売されています。市が㈱カインズと共同開発した「生ごみ水切り袋」もその一つです。全国のカインズ(一部店舗を除く)及びオンラインショップで購入できます。

●ダンボールコンポストで減量

ダンボールコンポストとは、ダンボールを利用した

生ごみ処理機です。基材の中にいる微生物が投入した生ごみを分解する仕組みになっています。生ごみを分解した基材は、やがて野菜や草花を育てるための堆肥になります。ダンボールコンポストを始めるために必要な材料は、ホームセンターなどでそろいます。



ダンボールコンポスト講習会を開催

ダンボールコンポストの作り方を学びます。講習会終了後には、自宅ですぐにできるダンボールコンポストセットも無料配布します。また、アフターフォローの講習会も開催します。

日時 10月21日(木)、11月18日(木) 全2回 午前10時～11時30分

※1回目だけの参加も可能です。

会場 市役所2階職員厚生室

講師 花里 政江 氏 (NPO 法人循環生活研究所
ダンボールコンポストネットワーク ダンボールコンポストアドバイザー)

定員 15名 (先着順)

費用 無料

用意 筆記用具、飲み物

申込 10月7日(木)から電話または直接環境推進課へ

集団資源回収予定表 <回収品目は古紙類・缶類です>

回収場所	日程	時間	問合せ先
アスピータこだま	10月3日(日) 11月7日(日)	午前9時～11時	ハートtoハート (佐久間さんち) ☎22-9300
市役所	10月17日(日)	午前9時～午後1時	
本庄南公民館 ※布類回収も実施	10月9日(土)	午前9時～11時	佐久間さんち ☎22-9300
就労継続支援B型事業所 「佐久間さんち」 (本庄高校北側)	10月15日(金)	随時受付	ポノポノ ☎23-2195

■令和3年7月分のごみの量
(可燃・不燃・有害・粗大)
家庭系ごみ排出量 1,762.56t
1人1日当たり排出量約 731g
前年同月比 -66g (-8.4%)
事業系ごみ排出量 812.66t
1人1日当たり排出量約 337g
前年同月比 +18g (+5.6%)

※天候等の理由で変更になる場合もありますので、各団体にご確認ください。